

特定非営利活動法人 (NPO法人)  
鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会  
鶴二支え合いだより



第122号 (10月)  
発行：鶴二支え合い広報部  
鶴ヶ島市鶴ヶ丘358-1  
鶴ヶ島第二小学校南校舎内  
電話：049-298-7974



mail s-2012012039561@ah.wakwak.com  
https://tagucchi.wixsite.com/tsuru2sasaeai

地域別懇談会 (鶴二小・藤小学校区)

令和4年10月13日 (木) 14時~16時 (オンライン (16名) と対面 (27名) のハイブリット開催)

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉計画の施行にあたり、4日間市内小学校区8か所で、地域別懇談が開催されました。この目的は、地域の活動者及び関係機関等の皆さまに地域の良さや将来像等についてご意見をいただき、またさらなる地域のネットワーク構築のために実施するものです。



13日は鶴二支え合い協議会のご協力により、鶴二支え合い協議会事務所内での対面会場とオンライン参加でのハイブリット型というかたちで開催しました。

当日は対面会場に27名、オンライン参加で16名の地域で活動されている方々が集まり、①地域でその人らしく暮らすために必要だと思うこと②そのために私たちそれぞれが地域でどんな役割を担えるのかについてグループに分かれ話し合いました。

以下、ほんの一部ですがご意見をまとめています。

上智大学 教授 高山恵理子先生の総評では、地域での交流の場の大切さ、つながりの必要性、プラットフォームのようなつながりができ、新しい社会資源ができたりするといった内容がご意見としてあがりました。大切なのはすでにある資源を繋げていくことで新しい力になるという見方をもつこと。小さな困りごとを解決する→繋がる→資源につながる→繋がるの場ができるという観点が必要なのではないかとお話くださいました。ご協力・ご参加くださった皆様のご意見はこれからの鶴ヶ島市の地域づくりに生かし、継続的に話し合いの場を今後つくっていきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いたします。(鶴ヶ島市社会福祉協議会)

①についての  
ご意見

- ・広い価値観で受け入れられる地域
- ・悩んでいる人が拾い上げられる地域
- ・近所とのつながりで小さな変化に気づくことが大切←予防的福祉
- ・孤立、孤独を一人で悩むことがない関係性の構築が必要

②についての  
ご意見

- ・他者への思いやり
- ・今までの知識やノウハウを生かしてもらう
- ・医療。福祉。高齢・子ども。専門分野につなぐことが大事
- ・鶴ヶ島市での取り組みを可視化する

第36回 (令和4年度) 鶴ヶ島市総合防災訓練

令和4年10月23日 (日) 8:30~11:30

避難所開設・運営訓練タイムスケジュール

8:00	訓練役員待機、各活動班の人数確認及び使用資機のチェック			
8:35	避難所開設			9:55
本部 (全体統括)	各班の状況把握と指揮統制			
本部 (受付・名簿班)	受付の設置・受付方法の確認	→	避難者名簿作成・情報班への連絡体制の確認	
本部 (総務班)	スペース作成 (一般・授乳、着替え・その他) 等	→	避難者カードの記入回収・誘導確認	
本部 (情報班)	情報掲示板の設置・市災害本部との連絡	→	防災行政無線・特設公衆電話の確認	
食料・物資班	配布ルールの検討・必要物資の運搬と手配	→	避難者への物資配給準備	
衛生班	トイレ設置・ゴミ集積所・ペット飼育スペース検討	→	本部へ合流・他班の補助等	
救護班	居住スペース作成・受付設置	→	受付方法の確認	
諸説管理班	施設の安全確認・使用方法の周知	→	避難者への周知事項 (各班との連携)	
9:55	避難所運営訓練			10:50
10:50	使用機材等片付け			11:20
11:20	閉会式			11:30

鶴二支え合い協議会防災委員(13名)は、避難所開設・運営訓練を見学します。